

一人革命

自分が変われば周りも変わる

宇城憲治語録集〈一〉

はじめに

「人間には誰にも生まれながらもつ潜在能力があります。

その能力に蓋をせず、存分に発揮することができれば、
限りある人生を、自信と誇りをもち、堂々と生きることができるとです」

これは現在、気による人間の潜在能力の開発とその指導を全国で展開されている
宇城憲治先生が、塾生たち一人ひとりに必ず呼び掛けてくださる言葉です。

元氣、病氣、天氣、氣が利く、氣が氣でない、氣になる……

私たちの日常は、「氣」という言葉で満ちあふれています。宇城先生は、これだけ「氣」
のつく言葉が日本語にあるということは、「氣」という実態が実際にあるという証で
あるのだと言います。そして、その「氣」にこそ、私たちの身体に宿る人間力の源

を引き出す方法があるのだと。

宇城先生の指導はすべて、「やってみせる、やらせる」という実践です。1対6の腕相撲や女性が男性を倒すなど、従来では考えもできなかったことを、自らやってみせるのみでなく、第三者に「氣」を送ることでもその人に同じことを体験させます。

「氣」は見ることも感じることもできません。しかしこのように不可能なことが可能となる具体的な変化を経験することによって、塾生たちは、氣のエネルギーが確かに存在することを理屈抜きに学んでいくのです。宇城先生は、まさにこの「氣」こそ、日本人のDNAを目覚めさせるエネルギーであるのだと言います。

宇城先生は長年最先端のエレクトロニクス開発技術者として数多くの新技術開発に携わってきただけでなく、30代前半からは経営に携わり、40代には一部上場グループ企業の社長を務めるなど、若い頃から大きな重責を背負ってビジネス界で活躍してきました。一方で、空手道と居合道という厳しい武道修業の道を歩み、妥協のない文武両道の日々を送ってきました。

そうしたビジネスの実践と長年の武道修行のなかで辿り着いた武術の究極「氣」

の世界を、人間の潜在能力の開発技術の次元にまで高め応用し、世界に類のない能力開発の理論と実践を編み出されました。

本書は、そうした宇城先生のさまざまな指導現場における生の言葉を記録し、写真とともにまとめたものです。

技術、経営、空手、居合、すべてにおいて妥協なく取り組んできた先生の言葉は、自己変革へ向かう多くの塾生たちの背中を押し、勇気となっています。それは何より、宇城先生ご自身が、技術者として、経営者として、そして真の教育者として、自らとどまることなく、さらなる進歩成長の努力を誰よりも実践しているという事実があるからです。

この宇城先生の語録・写真集は、現在宇城先生に学ぶ塾生たちはもちろんのこと、人生を真剣に歩もうとする多くの方々の、前に進む原動力となると確信しています。

編集部

第一部 人間の可能性

人間の潜在能力・気

気とは

気とは、生命の根幹をなすエネルギーだと思っています。

なぜなら、気によって今まで不可能と思われた事が一瞬にして可能になるからです。

その事から同時に、

人間には驚くべき潜在能力が眠っていることが分かります。

その身体に隠された能力の発掘は、思考の深さも創造します。

そしてそこから自分を信じるという自信が生まれ、

自分の人生に信念がもてるようになります。



内なるエネルギー

自分を変える、そして自分が変わる、

それを可能にするのが「気」です。

自分のなかの「気」の存在に気づけば、

「自分一人でもやる」という一人革命の

内なるエネルギーが湧いてきます。



エネルギーを生み出す根源「心」

人間のエネルギーはどのように満たされるのでしょうか。それは心のあり方によつてです。

それは心が身体に優先し、心が身体を動かすからです。

それは心が起点となる意識です。

すなわち深層意識です。

この深層意識の心こそが

人間力を生み出す真のエネルギーとなります。

まさにそれは、謙虚の心であり、調和の心であり、

感謝の心が根源となります。そして愛です。

生かされている存在

私たちが人間はこの地球に「生かされている存在」としてあります。そのことは宇宙の仕組みを見れば一目瞭然です。空気や水が存在しなければ私たちは生きていくことができません。このように生かされている人間の生きる意味は、宇宙からのメッセージとしてすでに私たちの60兆個の細胞のDNAに刻み込まれているはずで

それを読み取るのが心であり、その心で思考し、行動する。その行動がまた心をつくり、その心がまた思考を深くする。この連鎖・循環こそが生まれながらにもつ潜在能力を引き出す仕組みとなるのです。

